

経営比較分析表（令和3年度決算）

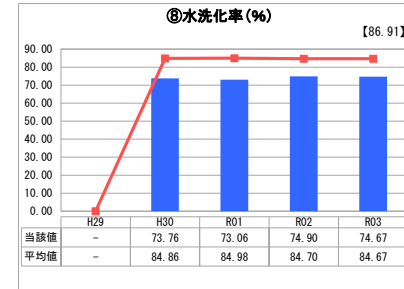
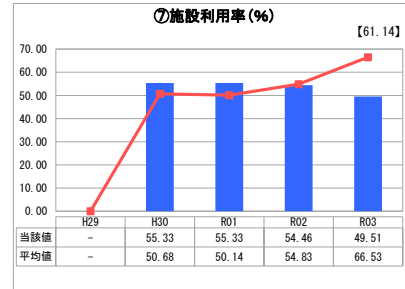
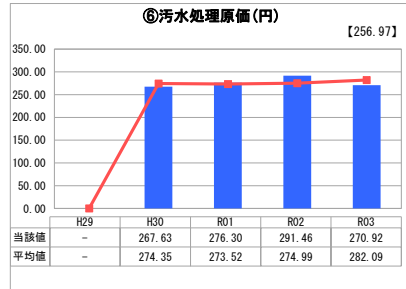
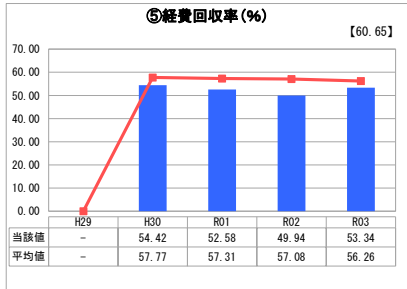
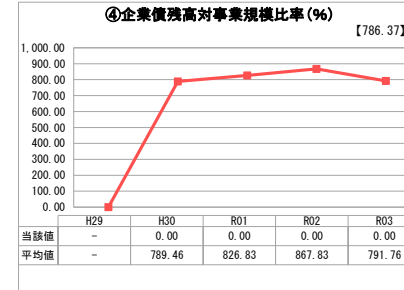
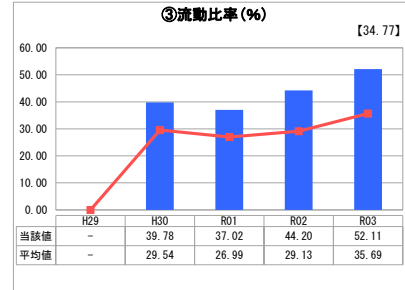
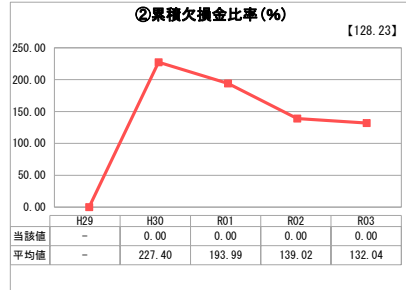
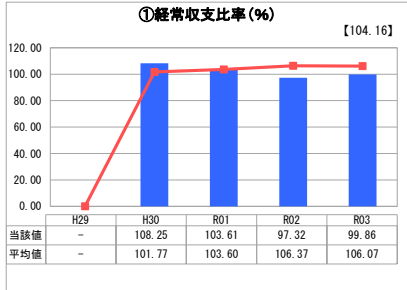
香川県 東かがわ市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	73.79	14.89	82.03	2,959

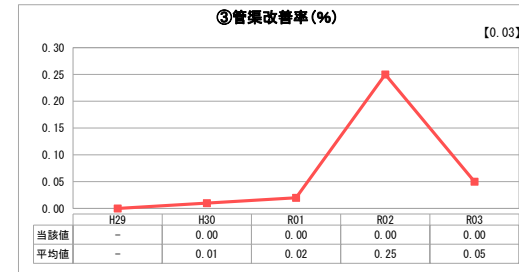
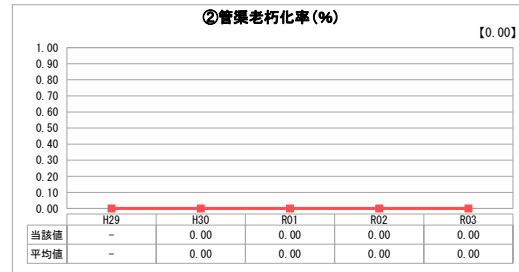
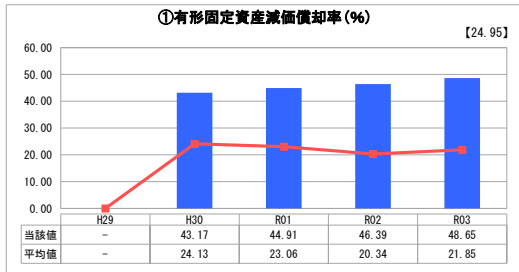
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
29,037	152.86	189.96
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,291	4.96	865.12

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率については、ほぼ100%となっているが、使用料で回収できない経費については一般会計からの繰入金で賄っている状況である。
 ② 経費回収率は改善されている。③ 汚水処理原価の数値が改善されたことが影響しているものと思われる。経営の効率性が上昇している。
 ④ 汚水処理原価は前年度及び類似団体平均値と比べても良好な数値となっている。前年度に比べて機器の修繕等が少なく、維持管理費を抑えられたことが要因と考えられる。
 ⑤ 施設利用率が漸減してきており、類似団体平均値と比較しても低い数値となっている。これは人口減少により処理水量が減少していることに起因するものと思われる。今後も減少傾向が続くと予想される。
 ⑥ 水水洗率は横ばいである。水水洗率の向上に向け、引き続き接続促進に努めていくものの、各地域の過疎化の進行度合いにかんがみると数値の改善は期待し難いところではある。

2. 老朽化の状況について

各区域により老朽化の進行度合いに差はあるものの、現在のところは法定耐用年数を超える管渠はないため、大規模な更新等は行っておらず。随時設備の修繕を行うなど、維持管理に主眼を置いている。
 ① 有形固定資産減価償却率はおよそ50%であり、早急な対策が必要な状況にはないが、将来の長寿命化を見据えた財源の確保や計画的かつ効率的な維持管理が求められる。

全体総括

使用料収入で賄えない部分については一般会計からの繰入を行うことによって収支を均衡させている状況である。さらなる経営の健全化に向けて、適正な使用料収入の確保及び汚水処理費の削減の取り組みが求められるが、人口減少による利用者数の低下が見込まれる中では、今後の使用料収入の増加も厳しい状況である。この点、令和4年度4月より使用料の改定を行ったが、使用者の負担増大という面からしても大幅な増額は難しい。市内には10処理区域があるが、そのほとんどが1000人以下の小規模なものであり、施設の老朽化に伴う更新を行うにあたっては、各地域の状況を踏まえ、適正な施設運営に努めていく必要がある。今後は、汚水処理原価や施設利用率等を勘案しながら区域間の統廃合による適切な施設規模の実現を図ることを検討しつつ、維持管理費の削減につなげることを目指す。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。